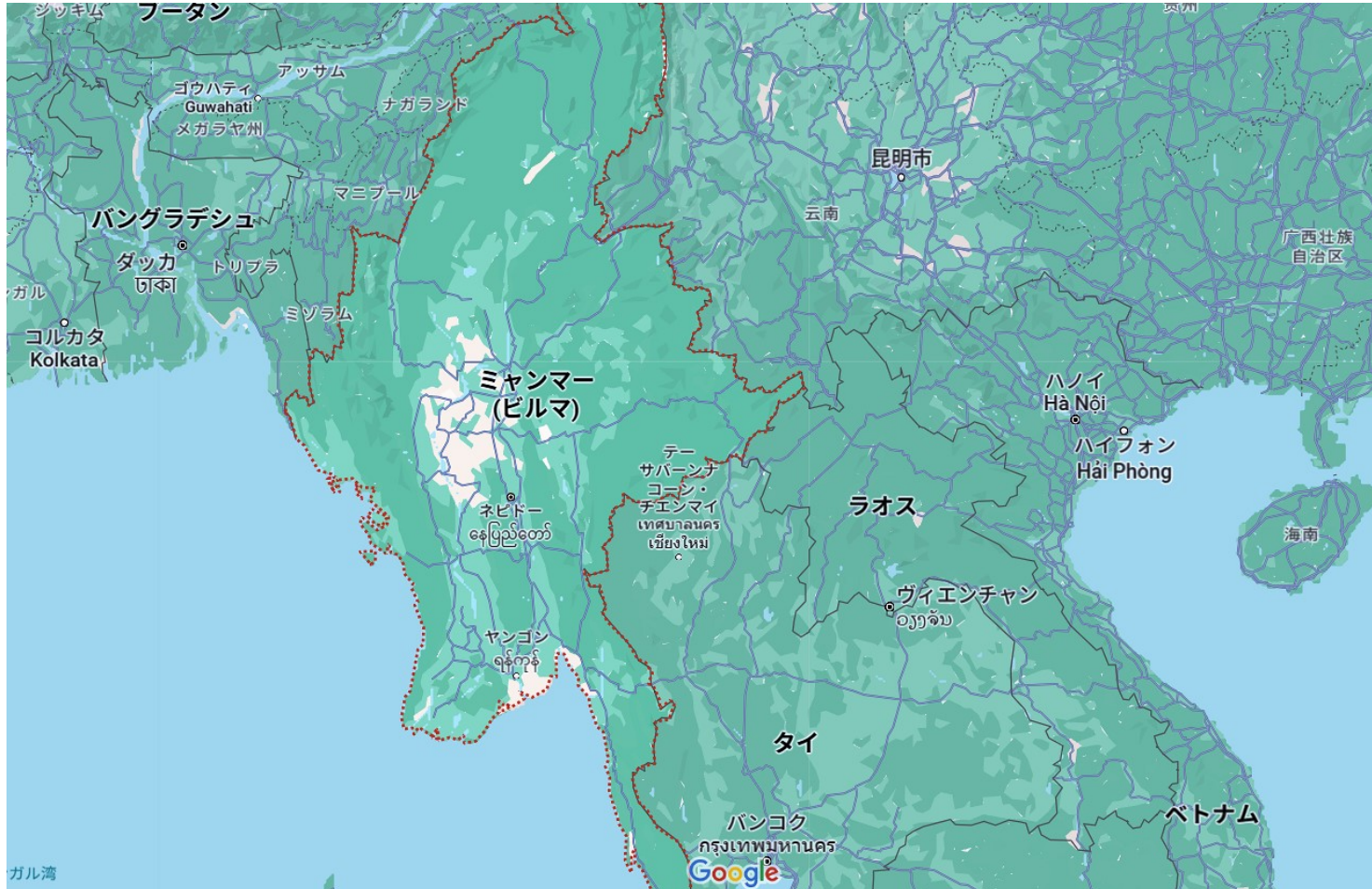


2023/9/27 (水)
インターネット世界旅行会

ミャンマー



1. バガン
2. ヤンゴン
3. インレー湖
4. マンダレー
5. ミンクン

吉岡 芳夫

ミャンマーについて

- 歴史と文化:

- ミャンマーはかつてビルマとして知られ、1948年に独立。その歴史は古代から続き、多くの王国や帝国がこの地域を支配した。
- ミャンマーは仏教が盛んな国で、仏教寺院や仏像が多く存在。最も有名なのはヤンゴンのシュエダゴン・パゴダで、国内外からの観光客に愛されている。
- ミャンマーには、カレン族、シャン族、カチン族などが住んでいる。

- 言語:

- ミャンマーの公用語はビルマ語（ミャンマー語）。ビルマ語はミャンマーの多くの民族グループによって話されている。

- 料理:

- ミャンマー料理はアジアの他の国々の料理の影響を受けつつも独自の特徴を持っています。モヒンガ（魚のスープと麺）は国民的な料理で、朝食によく食べられます。
- バーガー（パンケーキ）やサムサー（揚げ春巻き）など、ストリートフードも人気です。

ミャンマーの観光地

- バガン (Bagan) :
 - バガンはミャンマーの最も有名な観光地の一つで、紀元9世紀から13世紀にかけて築かれた仏教寺院と仏塔が数千も点在している。
 - 夕暮れや朝焼けの時間帯にバガンの平原から寺院や仏塔が立ち昇る様子は、壮観で美しい光景だ。
- ヤンゴン (Yangon) :
 - ミャンマーの首都であり、シュエダゴン・パゴダが最も有名。この寺院は仏教徒にとって非常に重要で、金箔で覆われた塔が特徴だ。
 - ヤンゴンには歴史的な建築物や市場、公園も点在しており、街のエネルギー溢れる雰囲気を楽しむことができる。

- インレー湖（Inle Lake）：
 - 美しい山々に囲まれた淡水湖で、伝統的なイヌピシュ族（水上の人々）が住んでいる。彼らには特異な漁法や水上の生活がある。
 - 湖の周りには美しい寺院、庭園、工芸品の村などがあり、ボートツアーやサイクリングが楽しめる。
- マンダレー（Mandalay）：
 - ミャンマーの文化的な中心地で、数々の宮殿、寺院、修道院、工芸品の作り手が点在。
 - マハムニー・パゴダやウ・ベイン橋（ティーバーリ橋）などが価値あり。
- ミンクン（Mingun）：
 - ミャンマー中部に位置し、巨大な未完成の仏塔で知られている。ミンクン・パヤとして知られるこの仏塔は、19世紀に建設が中断されたが、その巨大さは圧倒的。
- バガン平原（Bagan Plains）：
 - 数千もの仏教寺院と仏塔が広がり、ホットエアバルーンに乗ってこの壮観な景色を一望することができる。特に夕日の時間帯が美しい。

【5分でわかる】ミャンマーの世界遺産「バガン」とは。
歴史と変遷をシンプルに分かりやすく解説します。」
ミャンマーの観光・旅行・歴史・生活情報を現地ライ
ターがお伝えします！ (tnk-japan.com)



他に類を見ない景色が体験できる場所があります。幻のような景色のこの地は、観光地というだけでなく、多くの僧侶たちにとっても重要な場所です。



古都バガンには現在も多くの寺院やパゴダが残っており、その数約3000基と言われています。広大な平地に幾千もの遺跡が建ち並ぶ光景は、まるで別世界です。



パゴダとは、お釈迦様の髪の毛や骨などが納められている仏塔のこと。一般的に、「寺院」や僧侶たちが修行を行う「僧院」と並んで建てられている。

シュエズィーゴン・パゴダ

[Ken Wong - Google マップ](#)



雲ひとつない青空に、黄金色に輝くパゴダ！
絶妙のコンビネーションです。清々しくもあり、荘厳でもあり、線香の煙の漂う中ゆっくり歩けば、忘れかけていた信仰心を誰しも思い起こすことになるのではないのでしょうか？ 無自覚な仏教徒の私でも、不意に"あの世"のことを思ったりしました。

アーナンダ寺院

[JiaHao Heng - Google マップ](#)



バガン仏教遺跡で最も美しい「アーナンダ寺院」へ、黄金の仏像を見に行こう！
TRIPPING!



バガンで”最も美しい寺院”と称される「アーナンダ寺院」本堂には東西南北に入口があり、それぞれに高さ約10mの黄金の立像が祀られている。そのうち、東西にそびえる2体は新しく造り直されたものだが、南北の2体は1091年の創建当時の姿を今に残している。境内は神聖な場所のため、靴を脱ぐのがルール。

ブルーパヤー・パゴダ - Google マップ



形状と特徴：ブルーパヤー・パゴダは特異な形状を持っており、その名前は「ぶどう」を意味する「ブルーパヤー」に由来しています。パゴダの形状は円筒状で、ドームの上に円錐が乗ったようなデザインをしています。パゴダ全体は白い外装で覆われており、太陽の光を反射して美しい輝きを放っています。

歴史：ブルーパヤー・パゴダは紀元前3世紀にさかのぼるとされ、非常に古い歴史を持っています。その後、歴代の王や支配者によって何度も修復や改築が行われました。

ヤンゴン (Yangon)

ミャンマーの大都市ヤンゴンのおすすめ観光スポット 20選 | Stayway



ヤンゴンは発展途上の国ミャンマー最大の都市で2006年に首都機能がネピドーに遷される前までは同国の首都でした。

その為ヤンゴンはかつて首都だった面影を色濃く残し巨大な仏教施設やイギリスによる植民地時代のコロニアル建築の歴史的建造物などが多く残っています。

また人々が未だに民族衣装を日常的に身につける姿を見る事が出来、タイのバンコクやマレーシアのクアラルンプールの様な他の東南アジア諸国の首都では見る事が出来ない『東南アジア』を訪れる事が出来るのがヤンゴンの良い特徴として挙げられるでしょう。

シュエタゴンパゴダ

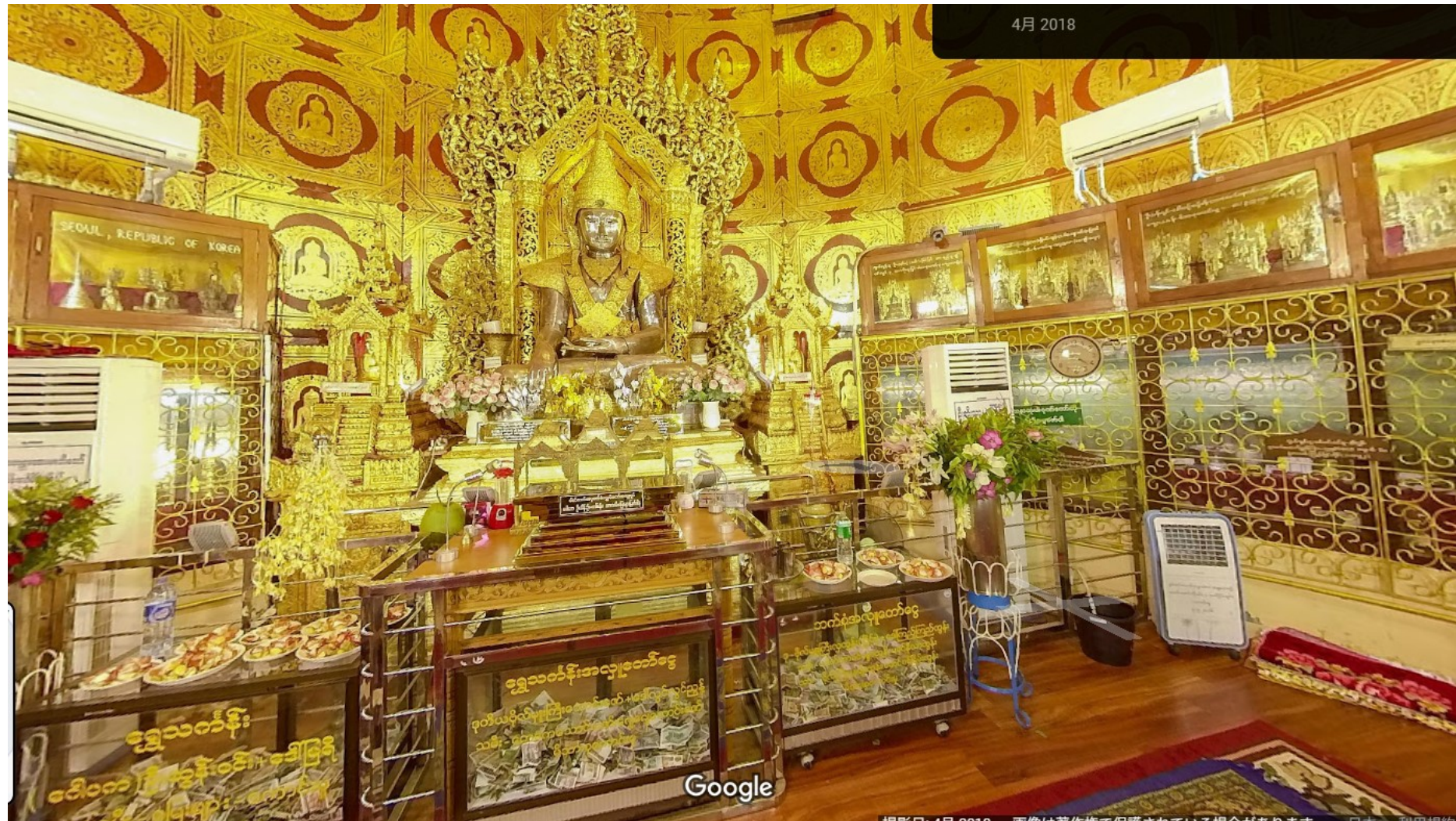


東京ドーム1.3個分の広さに高さ100mの黄金の仏塔が圧倒的な存在感を放つ「シュエタゴンパゴダ」はヤンゴンの定番観光スポットです。

伝説によると2500年前に建てられたと言われ、釈迦および釈迦以前にこの世に現れた3人の菩薩の一部が納められていることから仏教徒にとって重要な聖地となっています。

敷地内には無数の講堂や祠が散らばり多くの仏像や精霊が祭られています。

カバーエー・パゴダ(ティリ・ミンガラー・カバーエー・
ゼディ・トゥ) - Google マップ

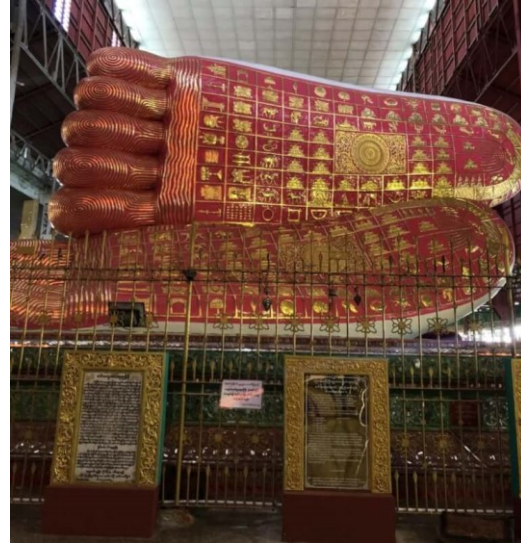


4月 2018

Google

撮影日: 4月 2018 画像は著作権で保護されている場合があります 日本 利用規約

チャウタツジーパゴダ



シュエタゴンパゴダからタクシーで5~10分ほどの場所にあるチャウタツジーパゴダは巨大な寝釈迦仏を有する寺院です。

全長は65.8m、高さは17.7mでお釈迦様の表情のやわらかさが注目のポイントです。

足の裏にはレリーフが描かれており、足の裏の前にある英語の看板で模様の解説がされています。

ナーガ・ハタット・ギイ・パゴダ



チャウタツジーパゴダからすぐの場所にある1900年に建てられた仏教寺院で高さ14mのあぐら像が人々を魅了する事で多くの観光客によって訪れられています。

仏像の額には50カラットの本物のダイヤモンドが嵌められています

ガンドーシ湖

[TEST.JPG00000 - Google マップ](#)



[カラウェイク・パレス・レストラン - Google マップ](#)



インヤー湖と同様にイギリス植民地時代にヤンゴン市内への水供給を目的に造られた人工の湖でシュエタゴンパゴダから徒歩で訪れる事が出来る立地なので併せて訪れる事をオススメします。湖沿いに木造の橋が設置されていてそこを散歩する事が出来ます。

ヤンゴン中央駅



以前に利用されていた駅舎が焼失した為1947年にヤンゴン市庁舎を設計した人物と同じ人物によって設計された後建て直され今に至っています。

ヤンゴン中央駅からは環状線が7番線から運行しており38駅を3時間かけて各駅停車しながらヤンゴン市内をまた違った角度から眺めるのが観光客に人気です。

利用されている列車は日本製で所々に日本語の表示が残ります。

観光客のみならず現地の方々にも利用されていて一周の乗車料金は破格の安さで約20円です

旧ビルマ総督府



1947年にアウンサン将軍が暗殺された場所として知られる旧ビルマ総督府です。

首都がヤンゴンからネピドーに遷されるまでは行政機関として機能していましたが今は完全に空家となっていますがイギリス植民地時代の名残を残す赤レンガ造りの建物は一見の価値があるでしょう。

独立記念塔



マハバントゥーラ公園の中央に高く聳え立って居る高さ46mの白い塔。

この塔はミャンマーがイギリスから独立したことを記念して建てられました。

日中は白い塔と青空のコントラストが美しく夜はライトアップされてまた違った姿を見せてくれます。

時間に余裕がある方は是非日中と夜の両方で訪れてみると良いでしょう

聖マリア大聖堂



聖マリア大聖堂は1899年に創建され1996年に世界遺産認定された教会です。

イギリス統治時代に建てられた為英国風の建築様式が外観に強く表れています。

インレー湖周辺でおすすめ観光地10選！ミャンマーの
シャン高原に位置している湖 - おすすめ旅行を探すなら
トラベルブック(TravelBook)

インレー湖は、ヨーロッパ人観光客に人気があり、バガンに次ぐ観光地です。

湖には浮島とリゾートホテルが点在し、観光客はボートツアーを楽しむことができます。

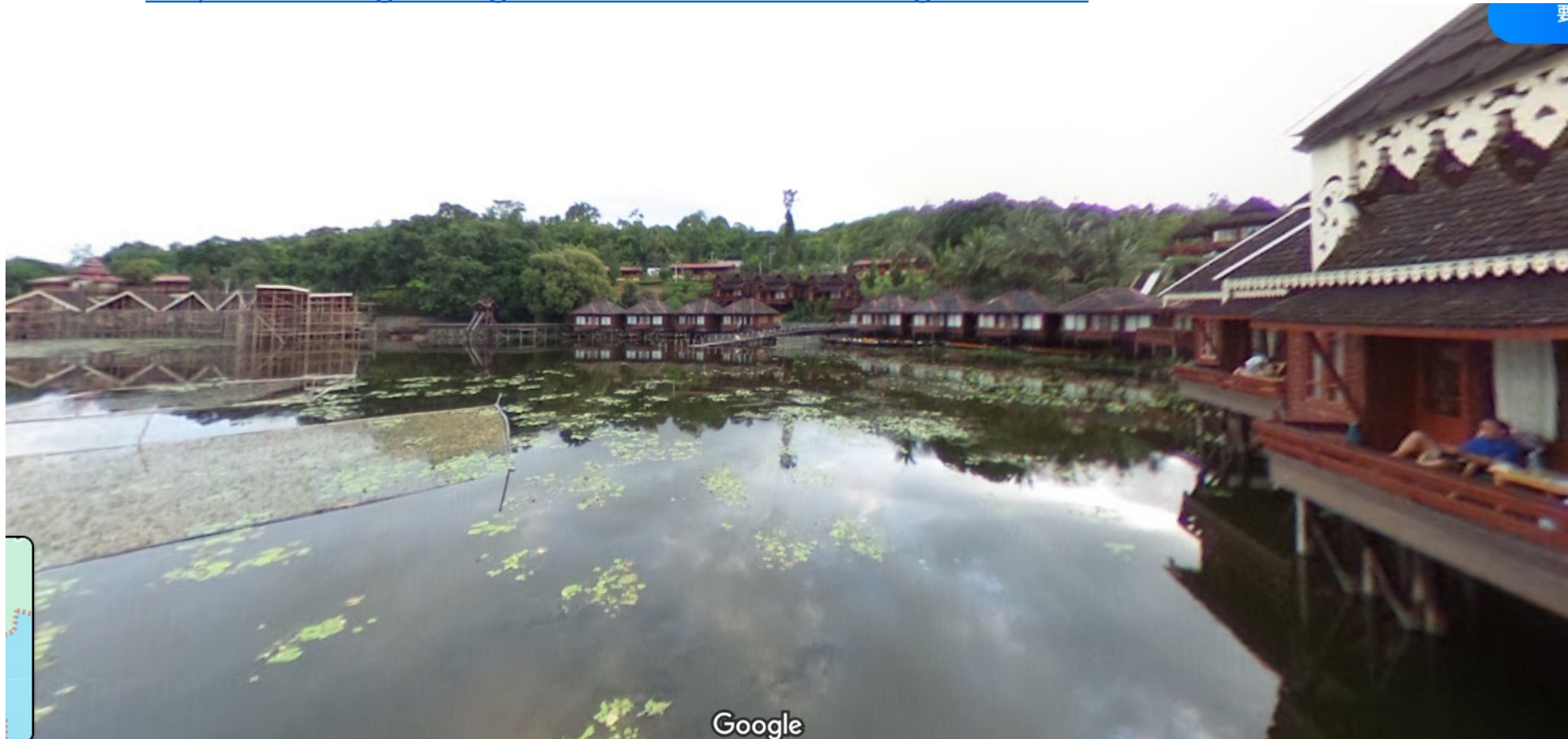
また、9月から10月にかけてイカダ祭が開催され、黄金の船カラウェイが湖に登場します。

この祭りでは仏像を積んだカラウェイが湖を巡り、参拝者やボートレースなどが行われます。

この祭りはアラウンシードゥー王に起源を持ち、仏像は金箔で覆われています。

インレー湖畔

[Hupin Khaung Daing Resort Inle Lake - Google マップ](#)



ミャンマーで最も有名な祭！インレー湖の「筏(いかだ)祭り」 | TRIPPING!





黄金の船の神秘
さと迫力は多く
の人々の心を掴
んでいる

マンダレー

2023年 マンダレイで絶対外さないおすすめ観光スポット
トップ10【定番から穴場まで！】 トリップアドバイザー
([tripadvisor.jp](https://www.tripadvisor.jp))



マンダレー は、ミャンマーでヤンゴンに次ぐ第2の都市であり、人口は927,000 人、2014年の都市圏人口は2,140,000 人に上る。イギリスにより併合されるまで、ビルマで独立を保った最後の王朝の首都であった。また、現在のマンダレー地方域の区都である

シュエナンドー僧院 - Google マップ



シュエナンドー僧院 - Google マップ



王宮の一画にあり、ミンドン王やその夫人もたびたび足を運んだという木造の僧院。コンバウン朝時代の数少ない遺構であり、外壁から内部まで施された繊細な彫刻には目を奪われます。



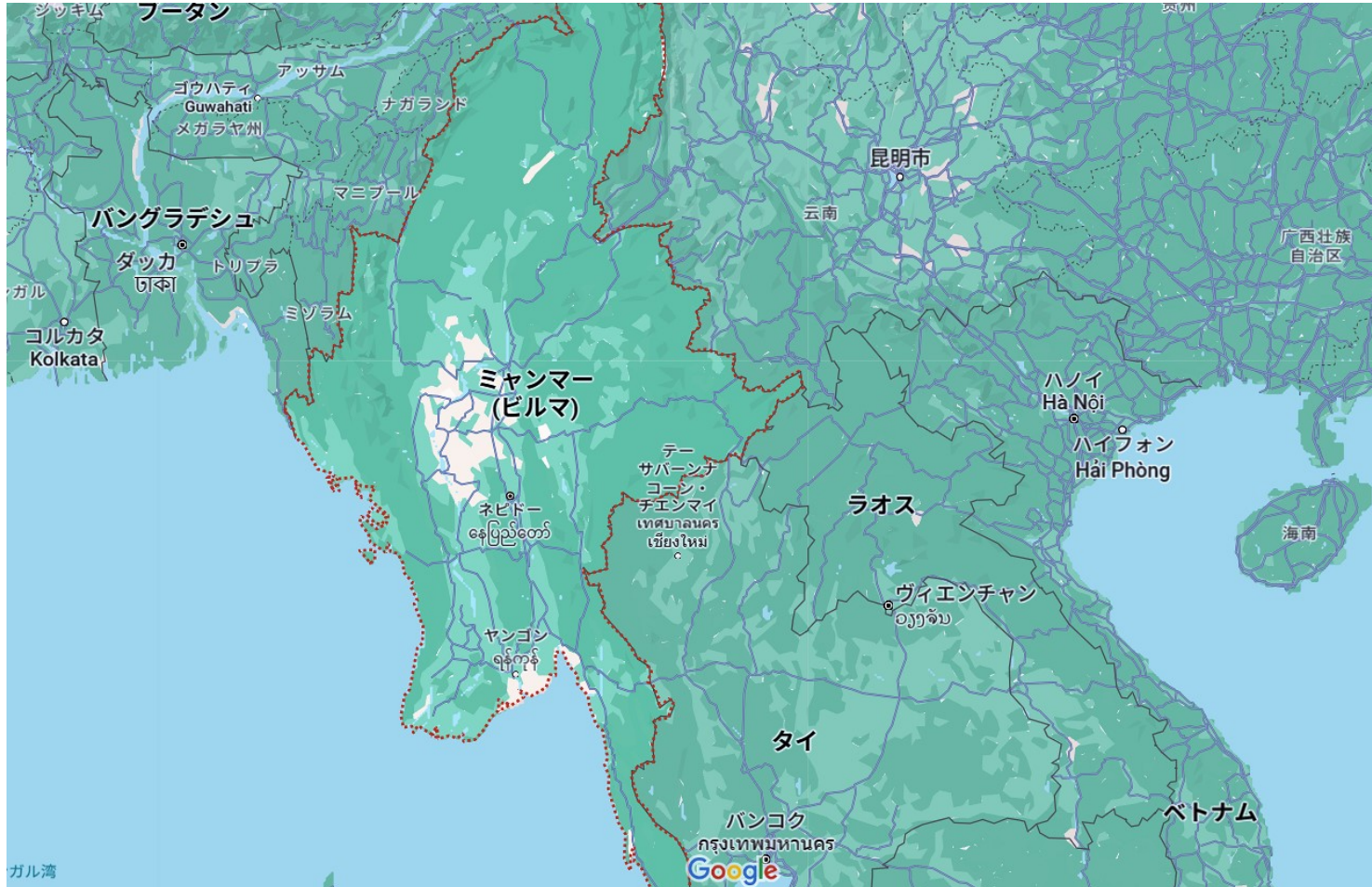
クトードー・パゴダ - Google マップ



クトードー・パゴダ - Google マップ

2023/9/27 (水)
インターネット世界旅行会

ミャンマー



1. バガン
2. ヤンゴン
3. インレー湖
4. マンダレー
5. ミンクン

終わり